

知的財産

当社グループは、世界最高品質のコンテンツ(IP)を継続して生み出す開発力・技術力により、これまで全世界でブランド化された多数の人気IPを保有しています。

これらを活用し、事業活動を通じて世界に通用する独自の人気IPを創出することに加え、「ワンコンテンツ・マルチユース戦略」により様々な分野に展開することで、事業の拡大を図っています。

今後も、当社グループが掲げるビジョンを目指し、持続的・安定的な成長と「毎期10%営業利益増益」の中期経営目標を達成するためには、IPを継続的に生み出すための投資およびグローバルにブランド認知の拡大・浸透が重要であると考えています。

また、当社グループは、知的財産の活用および適切な管理・保護を図ることにより、企業価値の向上に努めています。

このため、以下の知的財産戦略の推進に取り組んでいます。

知的財産への投資

当社グループは、当社の高度な技術と開発力により創出された、世界で人気のあるブランドを多数保有しており、世界220以上の国・地域へゲームコンテンツを販売しています。また、当社グループは、今後も世界最高品質のIPを創出すべく、人材投資戦略の推進および当社独自の開発エンジン等の最先端技術の研究開発や開発環境構築のための積極的な成長投資を行っています。

加えて豊富なIPとeスポーツや映像、キャラクターなどの周辺ビジネスとの連携を強化し、全世界へのコンテンツおよびコーポレートブランドの拡大・浸透を図ることにより、ブランド価値の向上に努めています。

知的財産への投資状況および実績

決算年(3月期)	2023年	2024年	2025年
開発投資額(連結) (百万円)*1	37,719	43,042	49,496
販売タイトル数	307	292	248
販売国・地域数	230	235	227
ゲームソフト年間販売本数 (千本)	41,700	45,893	51,876

*1 コンテンツ部分の金額を含めて記載しています。

(2025年3月31日時点)

知的財産の保護および活用

当社グループは、積極的な特許・商標出願を推し進め、知的財産の保護・権利化に努めることにより、事業におけるグローバル展開のさらなる深化を図っています。

これらの権利化した特許をクロスライセンス契約等で積極活用することにより、ゲーム開発の自由度を向上させ、魅力的なコンテンツ作りを推進しています。また、当社グループの知的財産権の保護のため、侵害行為への対策の推進および侵害行為を検出した場合の削除等の対応により、知的財産の適切な管理・保護に努めています。加えて、ゲーム内の素材データに対する商標のAIチェック導入等で開発支援体制を強化するほか、他社の知的財産権を侵害しないよう、社内での啓発活動も実施しています。

知的財産の創出・活用

当社グループは、知的財産部を設置し、社内教育等の実施に加え、事業部門や開発部門と伴走する体制により、知的財産のリスクの管理や継続的な新規創出を支援しています。また、産学連携や著作権セミナーなどの実施を通じて、将来の人材育成に努めています。さらに、ワンコンテンツ・マルチユース戦略により、知的財産をグッズやサービスに展開し、知的財産をアイデアも含む無形資産としてとらえ、知的財産の価値の最大化と積極的な活用を推進しています。

著作権等侵害対応および特許・商標の保有状況

決算年(3月期)	2023年	2024年	2025年
著作権等侵害削除対応件数(件)*1	6,940	7,110	6,176
特許保有件数(件)	912	1,060	1,164
商標保有件数(件)*2	5,523	5,885	6,343

(2025年3月31日時点)

*1 当社グループのコンテンツの海賊版や知的財産権を侵害したとみられる画像・動画などの削除等の対応件数です。

*2 出願中の含みます。

「特許庁長官表彰 知財活用企業(商標)」を受賞

当社は、世界各国でのゲームソフト販売実績や、国内外での商標活用が高く評価されたことにより、経済産業省 特許庁が主催する2025年度「知財功労賞」において「特許庁長官表彰 知財活用企業(商標)」を受賞しました。ゲームから生まれた商標をグッズやサービスに展開する、当社のワンコンテンツ・マルチユース戦略や、商標のAIチェックを業界に先駆けて導入した点が主に評価されました。また、2025年1月には、知財・無形資産の活用による高収益性と企業価値向上が評価され「知財・無形資産ガバナンス表彰」にて「特別賞」を受賞しています。

情報セキュリティ

サイバーセキュリティ対策

当社グループは、国内外の様々なサイバーリスクへの対策が不可欠との認識のもと、サイバーセキュリティに関する法令等を遵守のうえ、体制の強化に取り組んでいます。

これまで、継続的なシステムの運営・監視や、万一手が攻撃等のセキュリティリスクが顕在化するなどの非常時が発生した場合でも早期対処・復旧できる体制の構築等に努めています。

具体的には、権限管理の強化やソフトウェアの最新化、システムの簡素化を図るとともに機器の不正な挙動等を早期に検知するEDR*1(Endpoint Detection and Response)に加えて、ネットワークやシステム、クラウド環境など複数のセキュリティ領域を常時監視するXDR*2(Extended Detection and Response)をベースとしたSOC*3(Security Operation Center)運営によるサイバーセキュリティ対策を実施しています。

これにより、サイバーセキュリティの脅威に対する一元的な調査・対処を可能とともに、効率的な脅威検出や分析を支援する生成AIを導入するなど、より迅速かつ高度な対策を講じることにより、セキュリティの確保に努めています。

情報の管理

当社グループは、情報の保存および管理については、「情報管理総則」等の規程やガイドラインに基づき、個人情報・営業秘密などの各種機密情報を適切に管理しています。個人情報の取扱いについては、「個人情報保護方針」に基づき、個人情報保護法制への対応はもちろんのこと、役職員への啓発・教育、個人情報の保管場所等の基本的事項を把握する定期的な棚卸作業等の実施により、個人情報取扱業務が適正に行われているかを確認するとともに、改善すべき事項を発見した場合には是正措置を講じるよう、管理体制を構築・運用しています。また、当社グループの知的財産の集合体である、ゲームコンテンツやプログラム、開発エンジン等の開発に関わるデータのほか、蓄積されたノウハウ、販売データなど、当社グループの強みとなる情報資産についても、同様に適切な管理体制のもと、保護・活用を図っています。

加えて、当社グループはゲームコンテンツの販売拡大に向けて、各国で整備が進められる未成年者保護などの法規への対応強化を図っています。また、昨今の技術進化の動向を踏まえ、生成AI利用に関わるガイドライン等を策定・周知するなど、技術の積極的活用に伴う情報管理の観点から、社内運用体制の整備・強化を進めています。

*1 Endpoint Detection and Response の略。ユーザが利用するパソコンやサーバなどの機器に不審な挙動を検知するソフトウェアを導入し、迅速な対応を支援する仕組みのこと

*2 Extended Detection and Response の略。ネットワークやシステム、クラウド環境など複数のセキュリティ領域を常時監視する仕組みのこと

*3 Security Operation Center の略。SOC運営は、システムやネットワークを常時監視し、攻撃の検出・分析・対応する組織体制のこと